

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	健診を通じた健康づくり推進事業			事業番号	01-105
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部健康づくり担当	井上 稔	健康づくり課	高橋 健一	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	1	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	
		施策展開の方向	1	生涯にわたって健康に暮らせるまちをつくる	
		施策	1	自ら取り組む健康づくりの推進	
予算事業名	39歳以下健康診査事業費		健診・保健指導事業費		
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第18条、健康増進法				
国・県の計画等	健康日本21・かながわ健康プラン21		計画期間	平成25年度～平成29年度	
関連個別計画	健康いせはら21(第2期)計画・第2期伊勢原市国民健康保険特定健康診査等実施計画		計画期間	平成25年度～平成29年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	生活習慣病を予防するためには、若い頃からの健康意識・取組が大切ですが、39歳以下の市民は、健康診査を受診する機会が少ないため、市の主導で健康診査を実施します。また、一般健康診査の受診率は、約40%であり、未受診者の割合が多い状況です。				
目的 (何をどうしたいのか)	健康バス及び39歳以下健康診査等を通じ、健診受診率の向上及び生活習慣病の早期発見・予防に対する健康意識を啓発し、健康寿命の延伸と将来的な医療費抑制を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	20歳～39歳の市民、後期高齢者医療制度に加入している市民等				
事業内容 (手段、手法など)	・より多くの市民に、健診の必要性を理解していただくため周知を図るとともに、受診しやすいように実施回数、時期等をさらに工夫していきます。 ・また、医療機関や大学と連携し、生活習慣病予防等に関する講演会や健康バス、いせはら市民健康アカデミー等の実施を通して、健診受診・疾病予防に対する意識・動機付けを高め、健康寿命の延伸につなげます。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	39歳以下健康診査の開催	継続実施	継続実施		
	講演会の開催	実施(年3回)	実施(年3回)		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	39歳以下の健康診査受診者数	157人	240人	280人	
	講演会の参加者数	510人	540人	570人	

 事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	39歳以下健診は、引き続き、健診と同時に健康相談(骨量測定、血圧測定、食事相談、歯科相談、健康相談)を実施します。また、東海大学医学部と連携し健診受診の動機付けを目的とした「健康バス測定会」や「いきいき健康講座」を実施するなど、生活習慣病予防等の取組を推進します。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者 宗教法人寒川神社寒川病院 東海大学医学部
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容 集団健康診査 いきいき健康講座 健康バス測定会
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	39歳以下健康診査の開催	継続実施	継続実施
	講演会の開催	継続実施	継続実施
実施した取組の内容	39歳以下健康診査 健康バス測定会 講演会(いきいき健康講座 東海大学公開講座 伊勢原協同病院公開講座)		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	39歳以下の健康診査受診者数	157人	191人
	講演会の参加者数	510人	1,320人

コスト	年度		28年度 実績				29年度 実績			
	事業費合計 (a)			1,423	千円		2,083	千円		
内訳	国県支出金 ①		0	千円		167	千円			
	地方債 ②		0	千円		0	千円			
	その他特財 ③		29	千円		0	千円			
	一般財源 (a)-①-②-③		1,394	千円		1,916	千円			
国県支出金の内容										
その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期						
	その他									
人件費	正規職員		0.93	人	8,045	千円	0.26	人	2,270	千円
	その他の職員		0.00	人	0	千円	0.05	人	121	千円
	人件費合計 (b)		0.93	人	8,045	千円	0.31	人	2,391	千円
トータルコスト (a)+(b)			9,468	千円		4,474	千円			
単位当たりコスト	対象数	定義	16歳～39歳以下の人口				単位	16歳～39歳以下の人口		単位
		対象数	15,829	人		28,047	人			
	総事業費／対象数	598	円		160	円				

評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	39歳以下健康診査は、平成29年度は定員280人に対し、179人の受診者で、目標値は達成できませんでしたが、現状値は上回りました。健康バス測定会は、希望する自治会へ出向き、10箇所の自治会と2回のイベントで実施しました。更に、講演会の参加者については目標を大きく上回る状況でした。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市事業内容等	39歳以下健康診査については、他市における実施手法は、集団健診や個別健診など様々であることや、健康バス測定会や講演会等については、東海大学や伊勢原協同病院との連携により開催した事業であり、他市では実施していないなど他自治体との比較は難しいものであります。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	健康診査の受診機会の少ない若い世代を対象に、健診受診の機会を設けると共に東海大学病院等と連携した健診受診へのきっかけづくり、生活習慣病予防及び健康づくりへの意識向上に繋がっております。
効率性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	B	左記判断理由	集団健診の形態を生かし、健診のみでなく、保健師、栄養士による骨量測定相談会や歯科衛生士による歯科相談を併設実施しています。また保育付きサービスの実施を行い、受診環境に配慮した取り組みを行っていますが、更なる受診者の増加を図るための周知等の工夫が必要です。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	健康に関する意識・知識の普及を行うとともに、健康行動を継続し習慣化できるような働きかけが求められています。そのため若い世代からの健康に対する意識付けの必要性や、また個人だけでなく、家族や地域などの集団で健康について関心を持つことが出来る取組が必要です。
次年度以降の取組の方向性	健康いせはら21(第3期)計画の着実な遂行を行います。特に基本方針の疾病予防と早期発見ができる取組により、自分自身や家族での健康診査の受診を意識させ、疾病予防、早期発見をめざします。具体的には、東海大学医学部と連携し、健康診査の受診への動機付けを目的とした「健康バス測定会」や「いきいき健康講座」を実施するなど、生活習慣病予防等の事業を推進します。
所管部長による総評	高齢者及び若い世代の健康づくりは、それぞれ重要であります。健康バス測定会等を継続実施するなど、生活習慣病の早期発見・予防などの健康意識の改善を図り、健康いせはら21(第3期)計画を着実に遂行いたします。